

株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 基準日 定時株主総会 3月31日
剰余金の配当 期末3月31日
中間9月30日
- 定時株主総会 毎年6月
- 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
特別口座 口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同連絡先 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
(〒541-8502)
三菱UFJ信託銀行株式会社
大阪証券代行部
電話 0120-094-777(通話料無料)
- 公告方法 電子公告により行う
公告掲載URL <https://www.dnt.co.jp/>
ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。
- 単元株式数 100株
- 上場証券取引所 東京証券取引所 市場第一部
(証券コード4611)

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に登録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。
なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。

投資家向けページのご案内

投資家情報

大日本塗料

検索

<https://www.dnt.co.jp/>

当社ホームページ内の投資家向けページでは、決算情報に加え、決算説明会資料や開示情報などをタイムリーに掲載しています。ぜひご覧ください。



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

第138期中間報告書

2020年4月1日から2020年9月30日まで

大日本塗料株式会社



代表取締役社長 里 隆幸

代表取締役社長の里 隆幸でございます。株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。この度の新型コロナウイルス感染症による影響を受けられた皆様には、謹んでお見舞いを申し上げます。

Q 2020年度上半期の業績をお聞かせください。

A 当上半期は、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大を受け、日本国内においても緊急事態宣言が発出されるなど、経済活動の停滞を余儀なくされました。当社グループにおきましても、大半の事業セグメントにおいて需要が減退するなど、厳しい事業環境となりました。

これにより、当社グループの上半期の連結業績は、売上高は30,049百万円(前年同四半期比18.4%減)となりました。利益面では、販売費及び一般管理費の削減に努めたものの売上高の減少により、営業利益は815百万円(同70.4%減)、経常利益は1,038百万円(同63.9%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は413百万円(同76.7%減)となりました。

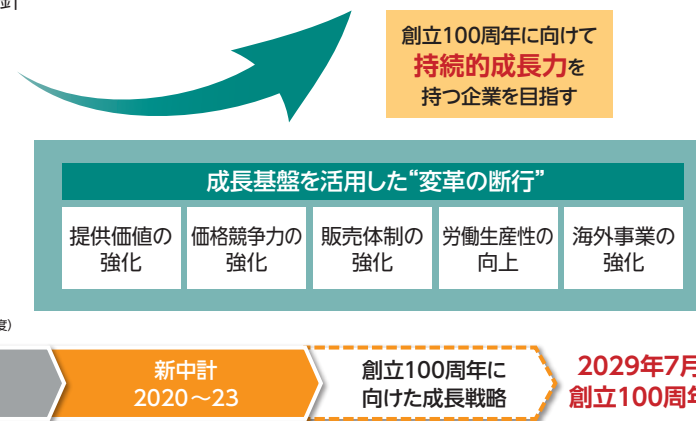
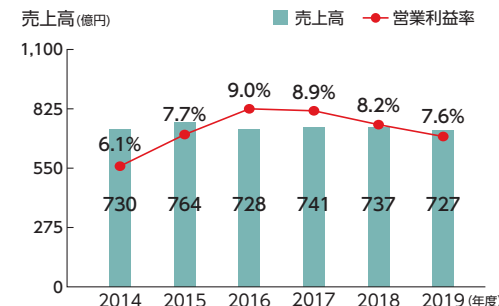
今後の見通しについては、7月29日付で業績予想を公表し、更に10月28日付で業績予想を修正させていただきました。通期の連結業績予想は、売上高62,500百万円、営業利益2,000百万円、経常利益2,250百万円、親会社株主に帰属する当期純利益1,100百万円としております。下半期は、経済活動の再開が一定程度進み、需要も緩やかに回復するものと見込まれますが、本格的な回復までには未だ時間を要することが想定されることから前期を大きく下回る見通しです。

経営理念

当社は、新しい価値の創造を通じて地球環境や資源を護り、広く社会の繁栄と豊かな暮らしの実現に貢献できる企業を目指します。

Q 今後の取り組みについて教えてください。

A ● 創立100周年に向けた新中期経営計画の基本方針



当社グループは、今年度より新たに中期経営計画(2020年度~2023年度)をスタートさせました。当初は、2022年度までの3ヵ年計画でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大による社会経済環境の急変に伴い、2023年度までの4ヵ年計画とすることといたしました。新中期経営計画では、「変革の断行」をテーマに掲げ、「提供価値の強化」、「価格競争力の強化」、「販売体制の強化」、「労働生産性の向上」、「海外事業の強化」の5つの重点施策に取り組んでまいります。

当上半期においては、「提供価値の強化」の一環として、6月30日にコーティング技術センター、7月3日に防食技術センターをそれぞれ開所いたしました。この両技術センターは、顧客のニーズの把握や他業種企業との技術交流

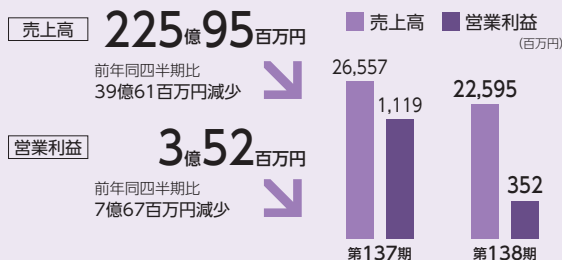
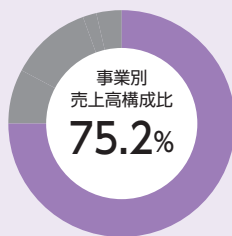
を通じ、サービスの向上とニーズに基づいた製品開発力を底上げすることを目的としており、コアビジネスである国内塗料事業の成長に大きな役割を果たすことが期待されます。

当社は昨年創立90周年を迎え、新たな10年に向けて歩み始めました。2029年度を迎える創立100周年に、「持続的成長力を持つ企業」を目指し、グループ一丸となって邁進してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2020年11月

国内塗料事業

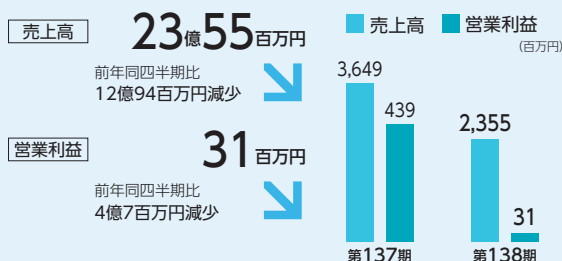
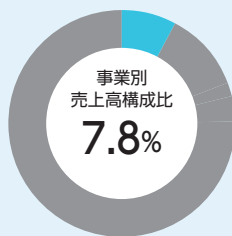


四日市市総合体育館

2021年国体会場である「四日市市総合体育館」の鉄骨部に「グリーンポーセイ速乾下塗」が採用されました。

- 構造物分野では、鉄骨向け需要の減少により売上高が前年同期を下回りました。
- 工業分野では、新型コロナウイルス感染症の影響により需要が落ち込み、売上高が前年同期を下回りましたが、足元では回復の兆しが見られます。
- 利益面では、販売費及び一般管理費の削減に努めたものの、売上高の減少により前年同期を下回りました。

海外塗料事業

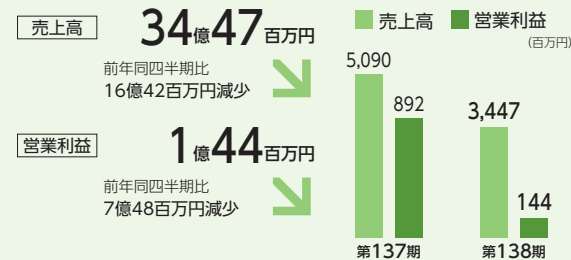
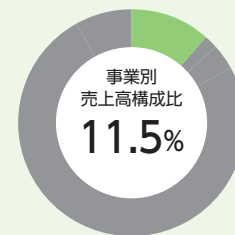


(写真提供：J&M Steel Solutions様)

ミャンマーの港湾都市パテインに建設された「Pahtein Bridge」に、「ゼッタール」、「エポニックス」、「Vトップ」が採用されました。

- 東南アジア市場及び北中米市場では、新型コロナウイルス感染症の影響により自動車生産台数が急激に落ち込み、売上高が前年同期を下回りました。
- 中国市場では、主要顧客の生産調整や減産が続き、売上高が前年同期を下回りました。
- 利益面では、各拠点において一般用塗料の拡販や、販売費及び一般管理費の削減に努めたものの、売上高の減少により前年同期を下回りました。

照明機器事業

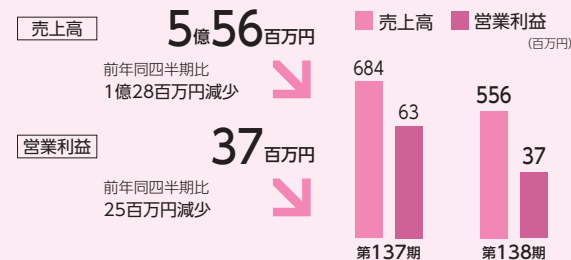
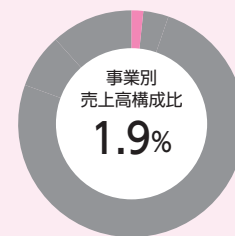


渋谷スクランブルスクエア4階[428-224(シブヤ224)]

渋谷スクランブルスクエア内のセレクトストア[428-224(シブヤ224)]にDNライティング(株)の意匠照明「DNLプロファイルシステム」が採用されました。

- 業務用LED照明分野では、新型コロナウイルス感染症の影響による商業施設向けの需要の落ち込みが継続し、売上高が前年同期を下回りました。
- 利益面では、販売費及び一般管理費の削減に努めたものの、売上高の減少により前年同期を下回りました。

蛍光色材事業

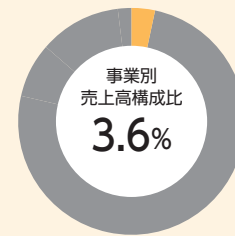


長崎県のJR大村線 千歳駅

転落防止のため鉄道駅舎ホームの先端部分に塗装されている「CPライン」。シンロイヒ(株)の蛍光色が全国の駅でも安全対策に採用されています。

- 顔料分野では、新型コロナウイルス感染症の影響による海外市場を中心とした需要の落ち込みが継続し、売上高が前年同期を下回りました。
- 利益面では、販売費及び一般管理費の削減に努めたものの、売上高の減少により前年同期を下回りました。

その他事業(物流・塗装工事)



特集 小牧・那須に技術センターがそれぞれ開所しました。

本年6月30日、愛知県の小牧事業所内にコーティング技術センター(CTC)が、本年7月3日、栃木県的那須事業所内に防食技術センターがそれぞれ開所しました。自動車産業を中心とした素材の軽量化といった産業構造の転換や社会インフラの老朽化などの課題に対し、顧客のニーズに沿った新たな技術・製品開発の推進に両技術センターを活用してまいります。

・コーティング技術センター(CTC)



3階建 延床面積 1,750㎡

液体塗装や粉体塗装、インモールドコーティング等、工業製品の塗装ラインと同じ環境下を想定した塗装検証を行うことが可能な施設です。

また、インク事業を展開している強みを活かし、液体塗料+インクジェットなど、様々な塗装方法を組み合わせた複合塗装の検証を一箇所で行うことができます。

・防食技術センター



2階建 延床面積 1,000㎡

塗料メーカーでは初となる防食技術に特化した施設であり、主に大型構造物を想定した構造体に対して実際の現場に近い作業環境で施工性・仕上がり外観の検証を行うことができます。

また、温度や湿度をコントロールできるため、春夏秋冬、北海道から沖縄まで様々な環境を想定した塗装条件を設定できます。

新中期経営計画の要として両技術センターを活用し、顧客とのより一層の連携強化を図ってまいります。

Topics JR東日本「高輪ゲートウェイ駅」に当社グループの塗料と照明が採用されました。

トピックス

本年3月に開業した、JR山手線と京浜東北線の新駅である高輪ゲートウェイ駅に、当社の塗料が採用されました。駅舎は「和」を意識した吹き抜け構造となっており、鉄骨部など様々な部分に「ゼッターEP-2HB」をはじめとした当社塗料が採用されました。

また、駅構内には無数のカメラとセンサーで、客が手に取った商品を認識する無人AI決済店舗「TOUCH TO GO」の国内第1号店があり、店内にはDNライティング(株)の照明が採用されました。



無人AI決済店舗「TOUCH TO GO」



高輪ゲートウェイ駅舎全景

京セラドーム大阪の手摺部に当社の塗料が採用されました。

多目的ドーム球場「京セラドーム大阪」の観客席手摺部の塗り替え工事に、当社の耐皮脂軟化塗料「アクアマリンタックレス」が採用されました。この塗料は皮脂軟化(人体から分泌される皮脂による塗膜の軟化)に耐性があり、水系のためドーム内での塗装に適しているなどの理由から採用に至りました。更に耐エタノール性も有することからアルコール消毒をしても塗膜に影響しないため、コロナ禍での更なる需要が期待されます。



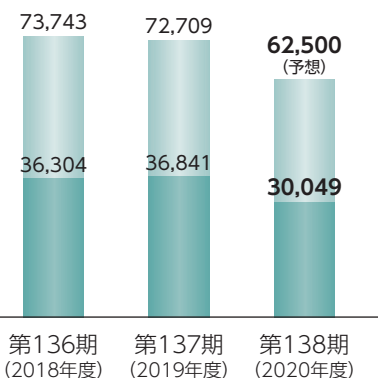
観客席すべての手摺部に採用

詳細はホームページに掲載されている
投資家情報をご覧ください。
<https://www.dnt.co.jp/ir/>



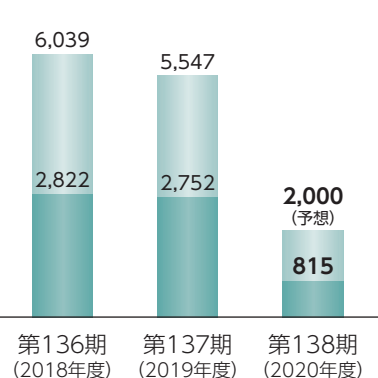
売上高 (百万円)

30,049百万円
前年同四半期比 18.4%減



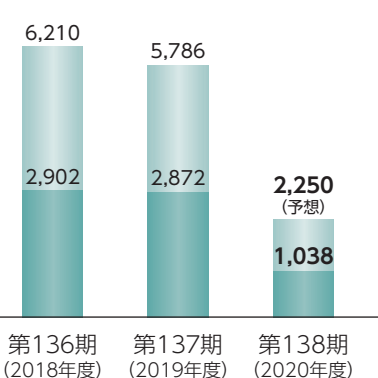
営業利益 (百万円)

815百万円
前年同四半期比 70.4%減



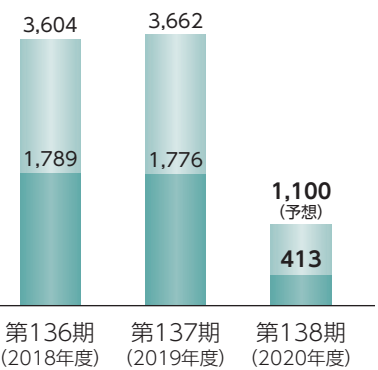
経常利益 (百万円)

1,038百万円
前年同四半期比 63.9%減



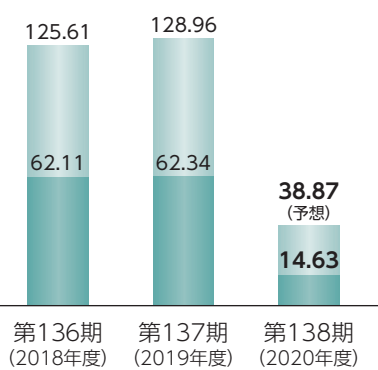
親会社株主に帰属する四半期純利益 (百万円)

413百万円
前年同四半期比 76.7%減

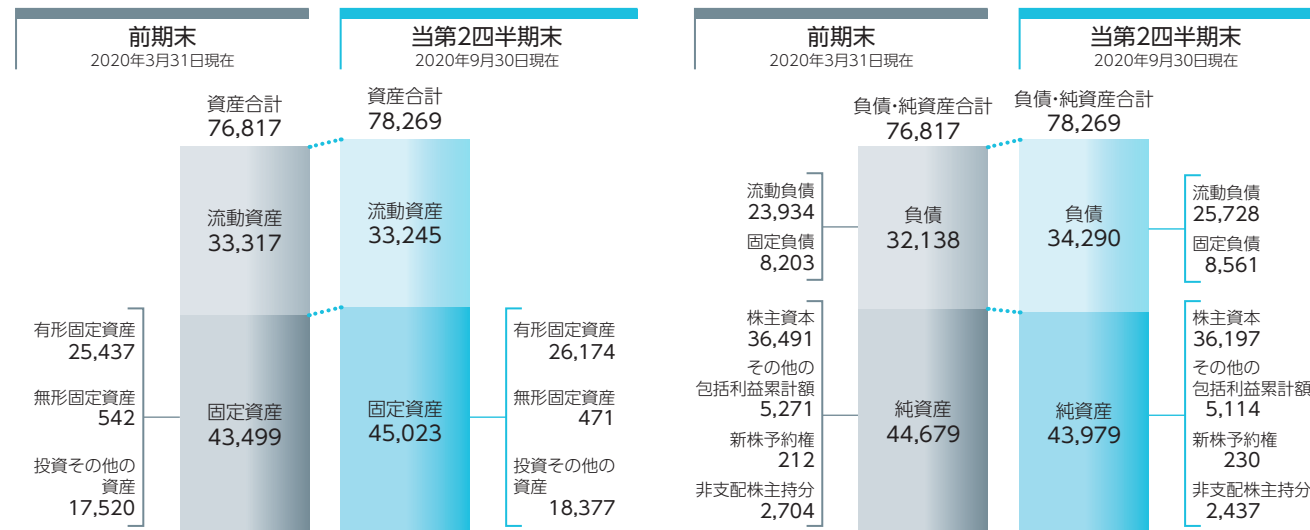


1株当たり四半期純利益 (円)

14.63円
前年同四半期比 76.7%減

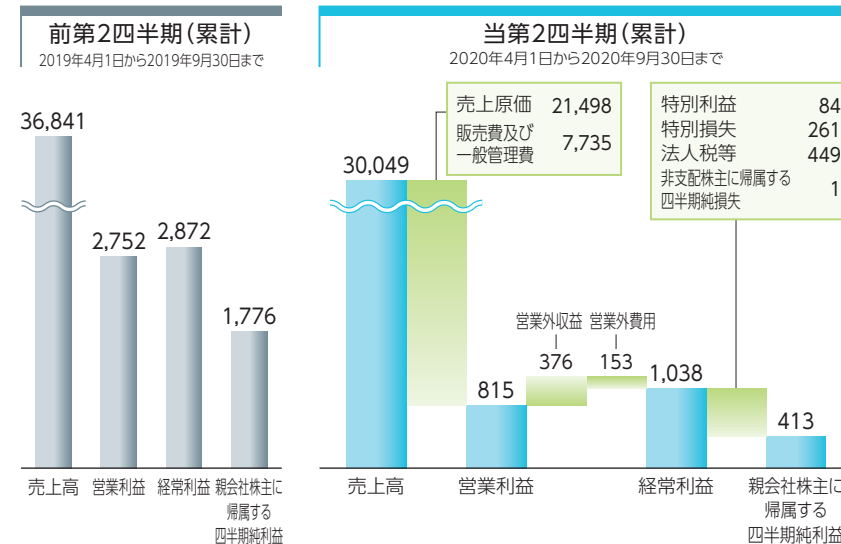


四半期連結貸借対照表 (要旨) (百万円)

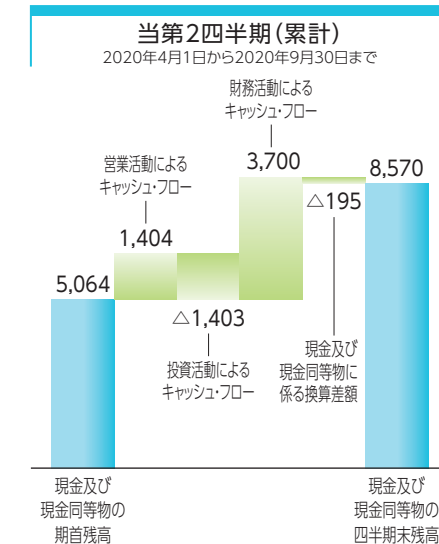


(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

四半期連結損益計算書 (要旨) (百万円)



四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨) (百万円)



(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

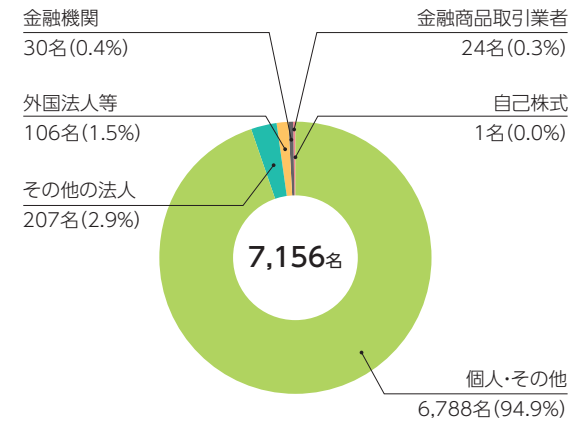
発行可能株式総数 93,280,000株
 発行済株式の総数 29,710,678株
 株主数 7,156名

●大株主(上位10名)

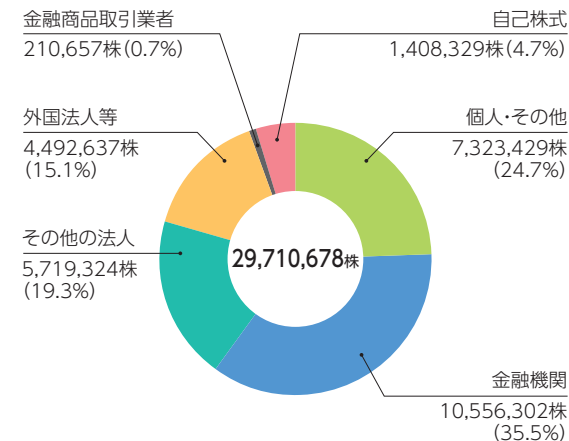
| 株主名 | 持株数(千株) | 持株比率(%) |
|-------------------------|---------|---------|
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) | 1,424 | 5.0 |
| 明治安田生命保険相互会社 | 1,400 | 4.9 |
| DNT取引関係持株会 | 1,267 | 4.4 |
| 株式会社三菱UFJ銀行 | 1,228 | 4.3 |
| 三菱商事株式会社 | 1,188 | 4.1 |
| 株式会社日本カストディ銀行(信託口) | 1,185 | 4.1 |
| 東京海上日動火災保険株式会社 | 1,013 | 3.5 |
| 富国生命保険相互会社 | 1,000 | 3.5 |
| 株式会社島津製作所 | 1,000 | 3.5 |
| 田邊康秀 | 829 | 2.9 |

(注1) 自己株式(1,408,329株)を除いて記載しております。
 (注2) 持株比率は自己株式(1,408,329株)を控除して計算しております。

●所有者別株主分布状況



●所有者別株式分布状況



●主な事業所/子会社及び関連会社

●大日本塗料株式会社

本社(大阪)、東京営業本部(東京)
 那須事業所(栃木)、小牧事業所(愛知)
 東京、名古屋、大阪 他16営業所

●子会社及び関連会社

国内塗料:

大日本塗料北海道(北海道)
 日塗化学(株)(東京)、千葉化工(株)(千葉)
 ジャパンパウダー塗料製造(株)(愛知)
 日東三和塗料(株)(滋賀)
 サンデーペイント(株)(大阪)
 DNTサービス(株)(大阪)、岡山化工(株)(岡山)
 DNT山陽ケミカル(株)(広島)
 (株)宇部塗料商会(山口)
 ビーオーケミカル(株)(福岡)

照明機器:

DNライティング(株)(神奈川)
 ニッポ電工(株)(秋田)

蛍光色材:

シンロイヒ(株)(神奈川)

その他:

日塗エンジニアリング(株)(神奈川)
 ニットサービス(株)(大阪)

海外塗料:



●会社概要

| | |
|---------|--|
| 商号 | 大日本塗料株式会社 Dai Nippon Toryo Company, Limited |
| 本社 | 〒542-0081 大阪市中央区南船場1-18-11 |
| 設立 | 1929年(昭和4年)7月25日 |
| 資本金 | 8,827百万円 |
| 従業員数 | 2,234名(単体:727名) |
| 主要な事業内容 | 塗料・ジェットインクの製造、販売 各種塗装機器装置の販売、塗装工事等 |

●役員 (2020年9月30日現在)

| | | | |
|-----------|--------|--------------|-------|
| 代表取締役会長 | 岩浅 壽二郎 | 取締役(社外取締役) | 灰崎 恭一 |
| 代表取締役社長 | 里 隆幸 | 取締役(社外取締役) | 向原 通隆 |
| 取締役常務執行役員 | 木村 直之 | 取締役(社外取締役) | 林 紀美代 |
| 取締役常務執行役員 | 永野 達彦 | 常勤監査役(社外監査役) | 福岡 靖之 |
| 取締役執行役員 | 野田 秀吉 | 常勤監査役 | 小林 正樹 |
| 取締役執行役員 | 山本 基弘 | 監査役(社外監査役) | 藤井 浩之 |